

慶留間島の自然

座間味村立慶留間小学校「チーム慶留間」
4年 前田 琳華 鹿島 匠人 3年 副田 奈々子

1. 「シカのすきな食べ物」(副田奈々子)

目的・動機

人間はいつもご飯が違うから、シカも違うのか調べてみたくなった。

方法・内容

ケラマジカ生息地に、様々な食べ物をしかけ、食べられているかを調べる。

日付	しかけた食べ物	わかったこと、したこと
9/15	ハイビスカス、梨の皮・芯、ぶどうの実・皮、キュウリの実・皮、にんじんの皮、へた	全部食べてある(9/18に確認)
9/18	ほうらいかがみ、桑の葉、石菊、おおぼこの花、葉 炊いた米、もち、パン、豆腐、キャベツ、みかんの皮	みかんの皮が残る 他は、全部食べてある(10/6に確認)
10/6	せんべい、ビスケット、キャベツ、柿の皮、ぶどうの実、みかんの皮、かぼちゃの皮 	琳華さんのお父さんから、畑に入り込んだシカがいて、いもの葉、パプリカの葉、トマトの葉、かざりょうの花の葉が食べられている。なすは残っていることを聞く。 みかんの皮が残る。(10/9に確認) シカに出会う。
10/13	ももたまなの葉、納豆 	シカが食べているのかを調べるために、えさ場に砂をしいた。 シカに出会う(オス2, メス2) 全部食べられていた。(10/20に確認)
10/20	柿の皮、れんこんの皮、バナナの皮、パン、だしがらのかつおぶし、おつまみ(柿の種)、にんじんの皮、トマト、大根の皮・葉、キャベツ	シカ、カラスの足跡がたくさん残っていた。 カラスが来ていることがわかったので、カラスよけをしかけることにする。 全部食べられていた(10/23に確認)
10/23	柿の皮、きゅうりの皮、しめじ、きのこのいしづき	全部食べられていた(10/27に確認)
10/27	ブルーベリー、フルーツミックス汁と実にわけた	カラスよけを仕掛けた。 すぐ近くにシカがいる。 シカが穴を掘ったり、水路をジャンプする姿を見る。 全部食べられていた(11/4に確認) 

11/4	マリーゴールド、サルビア、ペゴニア、石菊それぞれの花、雑草。 スッパymanの種なし	シカの足跡、ふんを確認。 シカに会う（一頭） サルビア、マリーゴールド、石菊、雑草が残っている。（11/6に確認）
11/6	ブルーベリー、ミカンの皮・実、 にんじんの皮・へた、大根の皮、 きのこのいしづき、サルビア	新しく作ったからすよけをしかける。 えさ場の周りに生えていた、ススキが食べられている。 サルビアが残っている（11/9に確認）
11/9	ススキ、野いちごの葉、ムーチー ガーサ、そてつ、クロツグの葉、 リュウキュウマツの葉、イジュの 葉	シカの足跡がたくさん残っている。 クロツグが少し減っている。他は全部残っている。（11/13に確認） カラスよけがちぎられている。 新しいカラスよけを作る。
11/13	レタスの芯・葉、	全部残っている（11/17に確認）
11/17	洋梨の皮、キウイ、シブイの皮、 きのこのいしづき	カラスよけをしかけた。 シブイの皮が残る（11/20に確認）
11/20	洋梨の皮、タマネギ、じゃがいも、 にんじん、くるみの佃煮、シーク ワサー	イタチが来ているかもしれないと聞いたので、イタチよけ（酢・音の鳴る缶を仕掛けた） タマネギ以外は全部食べられている（11/27に確認） カラスの足跡が無い。
11/27	ぐしちゃんいいなの葉、桑の実、 よもぎ、ばじる、ネギ、いもの葉 をしかけた。	シカに会う。（メス1頭） シカの歯の部分の骨を拾う。 全部無くなっている（12/1に確認）
12/1	リンゴの皮、柿の皮・実・へた、 白菜、キャベツ、ミカンの皮、サ ルビアの葉、マリーゴールドの葉、 石菊の花	白菜の根っこ、葉が残る。（12/8に確認）
12/8	ミカンの皮、リュウキュウマツの 葉、ムーチーガーサ、大根の皮	シカではない足跡が残っている。 ムーチーガーサ、大根、リュウキュウマツが残っている。（12/11に確認）

結果

シカが嫌いな食べ物は、石菊・サルビア・マリーゴールド・ムーチーガーサ（月桃）かきのへた、タマネギの根っこ、すすきの花、リュウキュウマツの葉、レタスの芯、しぶい（トウガン）の皮など。

人間が、普段食事で食べてる部分は、ほとんど食べているということがわかった。

来年はシカの飲み物について調べたい。

2. シカの毛・シカの角研ぎ (前田琳華)

目的・動機

シカの毛 去年からのテーマで、季節によって毛質が変わるのかを調べたかった。

角研ぎ 角研ぎあとの木の色の変わり方を調べたかった。

方法

シカの毛 ゴキブリホイホイを仕掛ける。場所は、奈々子さんのえさ場周辺に設置。

角研ぎ シカが角を研いだ木を見つけたので、定期的に通って写真を撮り、色の変化を調べた。

結果

シカの毛 4回取ることができた。

調べてみると、硬い毛（茶色で毛先が白っぽい）と柔らかい毛（白）があった。

写真でしらべてみると、白い毛は、おなかか、おしりの部分だと思う。

寒くなってくると、島で見かけるシカの毛の色が明るい茶色から、濃い茶色にかわっていた。

角研ぎ 日を追うごとに、木が白く乾いた感じになってきた。

色は、あまり変わらず、白いまま。

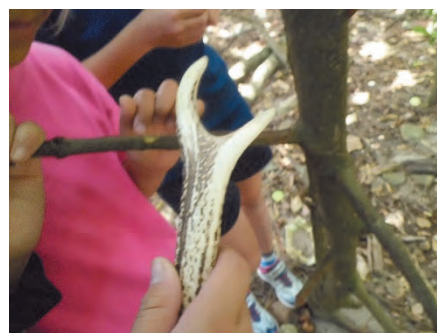
考察

シカの毛 シカの毛は、季節によって変わっている。夏は赤茶色、冬は焦げ茶色へと変わっていた。秋～冬に取れた毛は色が濃い。顕微鏡で見ると、茶色い毛と白い毛で透明感が違った。



角研ぎ 色が変わることに時間がかかることがわかった。

落ちていた角で試してみたが、かなり力をいれないと跡がつかなかった。角のごつごつしている所でこすると、跡がよくついた。シカの角研ぎの力は強い。



3. シカはなぜ山から人里に下りてくるのか (鹿島匠人)

目的・動機

山にはたくさんの食べ物があるのに、人里に下りてくる必要があるのかと思ったから。

方法

総合の時間や遊んである時に、シカを見つけたら自分のカメラで写真を撮って記録して表にまとめる。

結果

行動 場所	水	草	カラス	橋	ジャン プ	不明	戦い	死	穴ほり	合計
慶留 間橋	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
阿嘉 橋	0	0	0	0	0	3	0	0	0	3
広場	0	0	0	0	0	5	0	0	0	5
公園	0	3	2	0	0	2	0	0	0	7
山お宮	0	2	1	0	0	6	0	0	0	9
生息地	1	6	2	0	1	6	1	0	1	18
留学生 の家	0	4	0	0	0	1	0	0	0	5
海お宮	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
畑	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
合計	1	15	5	1	1	25	1	1	1	51

夏よりも、秋～冬にかけて、シカを見る機会が増えた。

人の気配を感じると、行動をやめて人間の行動を見ている。そういう行動は不明にしている。

人里にいたシカが食べていたものは、クロツグ、芝、ススキの葉、ハイビスカスなど。

秋から冬にかけて、シカとカラスが一緒にいることが多い。背中に乗っている。

考察

表にまとめてみると、シカの行動がよくわかった。シカは、山には生えていない芝やススキなどの草を探して人里に下りてきている。

